

令和4年度事業計画

1 開催準備業務

- (1) 会場地市町村の選定
会場地が未選定となっている正式競技の会場地市町村の選定を実施する。
また、デモンストレーションスポーツ実施競技を追加する。
- (2) 広報・県民運動の推進
開催内定を契機とした情報発信を強化し、大会開催に向けた気運醸成を図るとともに、県民運動の推進に必要な取組等の検討を行う。
- (3) 専門委員会の開催・運営
大会の開催に必要な準備を行うため、各専門委員会を開催し、必要な方針・計画・取組等の検討を行う。
また、今年度は新たに「警備・消防・防災専門委員会」を設置する。
- (4) 各種調査の実施
大会の開催に必要な輸送手段及び宿泊施設の確保に向けて、現状や課題を把握するため、輸送・交通基礎調査及び宿泊施設基礎調査を実施する。
また、このほかに会場地市町村における競技用具整備計画等の調査も実施する。

2 会議の開催

- (1) 総会（令和4年9月 ※書面表決による議決）
- (2) 常任委員会（令和4年8月22日、令和5年2月上旬頃）
- (3) 専門委員会
- (4) 市町村・競技団体担当者会議

3 関係機関等との連携

- (1) 市町村・競技団体との連携
市町村が行う競技会場の施設整備や、競技団体が行う競技役員等の養成に対する支援（補助事業）を実施する。
- (2) 先催県等の準備状況調査
国民体育大会開催県の現地調査のほか、各種会議において先催県の取組や課題等について情報収集・意見交換を行う。
 - 国民体育大会委員会（年4回）
 - 国民体育大会開催県検討会議（年2回）
 - 開催地連絡協議会（年1回）